

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 19 年 12 月 26 日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3873600476		
法人名	有限会社ファーストステップ		
事業所名	グループホームあおぞら		
所在地	喜多郡内子町平岡甲1243-1 (電話) 0893-44-4555		
管理者	土居 洋子		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 19 年 11 月 15 日	評価確定日	平成 19 年 12 月 28 日

【情報提供票より】 (平成 19 年 10 月 20 日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 3 月 25 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	21 人	常勤 8 人, 非常勤 13 人, 常勤換算	15.1 人

### (2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有( )円 ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( )円 ○ 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	300 円	昼食 400 円
	夕食	500 円	おやつ 円
	または1日当たり	1,200 円	

### (3) 利用者の概要 (平成 19 年 10 月 20 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性 10 名	女性 8 名
要介護 1	5 名	要介護 2	2 名
要介護 3	6 名	要介護 4	4 名
要介護 5	1 名	要支援 2	名
年齢	平均 86.3 歳	最低 75 歳	最高 96 歳

### (4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは落ち着いた環境の中にあり、広い窓から外光を取り入れ、気になる匂いもなく、健康的な空間を確保している。運営者はホーム設立に際し、ホームのありようを理念として作成し、職員と意思の疎通を図っている。職員は理念を共有し、日々のケアに活かして実践している。利用者は笑顔で明るく、ゆったりと過ごしている。介護計画はアセスメントを基に職員全員で意見を出し合い、毎月会議とモニタリングを行い、現状に即したケアの実践に努めている。町内の同業者とネットワークを結び、相互交流、研修を積極的に進め、相互の質の向上を図っている

## 【質向上への取組状況】

### ▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

評価の結果を活かし、食事について1日の必要カロリーと栄養バランスの把握に努め、また、定期健診の実施、成年後見制度の理解を図っている。改善計画表を作成し、改善状況や結果を記録することを期待する。

### ▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

職員全員で自己評価に取り組み、管理者がまとめている。自己評価実施を日々のケアの振り返りと見直しの機会として、ホームの質の向上につなげている。

### ▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

町担当者、民生委員、住民代表者、家族らを招き、2か月毎に開催している。議題にホームの現況や行事、地域の5グループホーム合同での認知症サポーター養成講座の企画、合同運動会の協議等を挙げ、会議を活かして地域全体の認知症に対する理解啓発や、利用者・家族、地域住民との交流を積極的に進めている。会議に幅広い立場の人が参加できるようさらなる工夫を期待する。

### ▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

入居時に苦情相談に関して説明している。玄関に意見箱を設置し、家族の訪問時には要望や意見が出しやすいよう配慮し、出された要望や意見は利用者本位に検討し、運営に反映している。

### ▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

自治会に特別会員として受け入れてもらい、町内の花作りに協力してホーム前に花を植えている。地域主催のバザーや祭りに参加し、獅子舞や亥の子などホームに受け入れる等連携に努めている。また、趣味のボランティアグループや小学生らの来訪を受け入れ、地域住民との交流を図っている。

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目  
(評価項目の構成)

## I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

## II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

## III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

## IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

## V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー  
“愛媛県地域密着型サービス評価”

## 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
  - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
  - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

## ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームあおぞら(ユニット名) 1Fユニット記入者(管理者)  
氏名 土居 洋子評価完了日 平成 19 年 10 月 24 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 本人がこれまで培ってきた家族や地域社会との関係の継続を大切に、自分らしさを保ちながら、自由で心豊かな暮らしが送れるよう事業所独自の理念を創りあげている。  (外部評価) 開設時に運営者のホームに対するポリシーと思いを理念とし、分かりやすい文言で理念を表現している。基本方針に地域密着型サービスの役割を掲げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 日々の話し合いの中で、いかに利用者様が自分らしく心地よく過ごして頂けるか、テーブルの位置関係・お手伝いの声掛けの工夫等小さなことでも、きずいた事を積極的に意見を出し合いながら意思統一を図り取り組んでいる。  (外部評価) 毎月の会議で議題に上げ、また日々のケアの中で理念に沿って振り返りを行っている。ユニット毎に具体的目標を立て、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 利用者や家族に対しては、入居契約時に理念の説明を行い、また、玄関口に理念を掲示している。しかし、地域の人々に理解してもらい取り組みはまだ出来ていない。	※	地域に方々と関わりを持るときや、地区の会合等で理念の浸透へ取り組みたい思う。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 日頃から気持ちの良い挨拶を心掛けている。又買い物や散歩時、顔見知りになり気軽に声を掛け合ったりしている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 利用者の以前からの友人、近所の人、親戚、同級生などつながりのある人たちが訪問される。お祭りや近くの学校の運動会等地域活動に参加し地元の人々との交流に努めている。  (外部評価) 自治会に特別会員として受け入れてもらい、地域の花づくりに協力し、ホーム前で花を育てたり、地域主催の運動会や祭りに参加し、獅子舞や亥の子をホームに受け入れ、地域活動に参加している。また、趣味のボランティアグループや小学生の来訪を受け入れ、地域の人々との交流に努めている。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) カンファレンスや運営推進会議等で話し合いは行っているが、具体案は現在、模索中です。	※	地域の方々と、今以上の話し合いや相談を持ちかけ、様々な意見を聞いて取り組んでいきたい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) スタッフ全体で自己評価に取り組み、その内容を自分で読み、確認する事でスタッフ1人ひとりに気づきが生まれ、日常の場面でどうなのか振り返る事ができたり、確認する事ができた。  (外部評価) 自己評価は職員全員で取り組み、ケアの振り返りと見直しの機会としている。外部評価の結果を活かし、食事の栄養バランスと1日のカロリーを把握し、また、定期健診の実施や成年後見制度の理解に努めるなどの改善を行っているが、改善計画表は作成していない。	※  ※	「もっとよくしていきたい」という思いを大切に「これまで」「いま」「これから」の姿を皆で確かめ合い取り組みたい。  改善計画表を作成し、改善の状況や結果を確認していくことを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 利用者やサービスの実際、行事報告や話し合い等を行っている。又内子町グループホーム合同の運動会や研修会にグループホーム関係者や地域住民に参加して頂き地域密着型サービスとして質向上につなげると共に、グループホームのあるべき姿や存在意義等を広く地域に周知啓発し、「地域で支えあう」地域ネットワーク作りに取り組んでいる。		
			(外部評価) 町担当者、民生委員、地区長、利用者家族らを招き、2か月毎に開催しているが、会議の参加メンバーは固定的である。ホームの近況と事業報告を行い、議題として地域の5グループホーム合同運動会等を企画し、地域の認知症理解と啓発を図り、利用者・家族、地域住民との交流につなげている。	※	議題に評価の公表なども取り上げて意見や要望をもらい、運営に反映することを期待する。また、幅広い立場の人が参加できるようメンバーの工夫も期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議等以外でも、ケアプランや介護保険制度等での不明な点やホームの運営上ことを気軽に相談でき、また、内子町担当者も真摯に対応していただいている。介護の質の向上に向けて、研修会等の案内も随時していただいている。		
			(外部評価) いろいろな機会に担当者を訪ね、分からないことを教えてもらったり、職員がホームを訪問するなど行き来し、町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 日々の話し合いやカンファレンス等で話し合いながら、個々の必要性を検討し、必要な時は何時でも対応できるよう取り組んでいる。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 日々の話し合いやカンファレンス等で話し合いながら、虐待を見過ごさないよう注意を払い、防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約書を交わす際には、利用者や家族等と書面を基に時間を掛けて、十分納得していただく説明に心がけている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 職員は日々利用者に関わる際に、小さな意見や不満、苦情に対して耳を傾け、カンファレンス等で話し合い問題解決にあたっている。また、玄関口に意見箱を設け、利用者以外の方々の意見も聞くようにしている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 請求書を送る際、日々の生活や行事等に参加している時の写真やコメント(手紙)を同封して、暮らしぶりがわかるように努めている。また、金銭管理は出納帳をつけ、領収書を必ず請求書送付時に添付している。  (外部評価) 毎月ホームの行事や利用者の様子などの写真にメッセージを書き添え、立替の支出明細及び領収書を家族に送っている。預かり金のある利用者分は金銭出納簿に記録し、家族に報告している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族等が来られた時、利用者の現状報告をする際、意見等を聞くように職員全員が周知徹底できている。また、玄関口に意見箱を設け、意見や不満、苦情を受け付けている。  (外部評価) 入居時に苦情や意見、要望の申し立てについて説明している。また、玄関に意見箱を設置し、職員は家族の訪問時には苦情など出しやすいよう配慮し、出された意見や要望を利用者本位に検討し、運営に反映させている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 運営に関する意見や提案等は、カンファレンス等で話し合いを設けている。また、個別にヒアリングをして、意見を聞いている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 管理者・ユニットリーダーを中心に、勤務の調整をしている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) あくまでも利用者本位に考え、必要最低限に抑えることに努めている。退職に関しても、利用者の精神状態を第一に考え、スムーズな引継ぎが出来るよう考慮している。  (外部評価) 異動の際は、新規採用者と利用者が馴染むよう離職者と新規採用者の重複勤務をしている。ここ1年は異動や離職が少なく落ち着いている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 内部研修については、管理者を中心にカンファレンス等を勉強会を行い、外部研修については、愛媛県GH連絡協議会等の研修を受講している。  (外部評価) 内部研修は毎月開催の会議でテーマを決め、学習している。外部研修は南予地区研修の費用を負担し、積極的に受講を奨励しているが、パート職員は受講できていない。受講者は内容を報告し、共有している。	※	研修を受講している職員、受講していない職員の格差が生じているため、特にパート職員に研修受講ができるように、今後考えていきたい。
				※	パート職員を含め、職員が段階に応じた研修が積極的に受講できるよう、参加方法や職員の意欲向上などの工夫が望まれる。



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 内子町グループホーム連絡会等を通じて、他グループホームとの相互交流を行っている。また、愛媛県グループホーム連絡協議会の相互評価事業にも参加し、相互訪問を行い、新しい気付きや発見をすることで、ホーム内で他職員にフィードバックしている。  (外部評価) 地区グループホーム連絡会として認知症サポーター養成講座や運動会を開催するなど、ネットワークを結んだ研修やイベント、管理者会議等を積極的に行っている。県グループホーム連絡協議会に所属し、相互評価事業に参加し、相互訪問を通してサービスの向上に取り組んでいる。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 職員が個別に抱えている悩み・相談事は、随時ヒヤリング等で話しを聞く体制にしている。また、適宜、食事会を行い、職員間のコミュニケーションを円滑になるよう努めている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 年2回人事考課を行い、自己評価、上司評価をし、自分のできていること、また、改善しなければならないことを検討している。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 事前調査で書類を確認し、訪問して本人の不安なこと・求めていること等をよく聴き、納得いくよう話し合うようにしている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談を受けた時から、家族等が困っておられる事・不安なこと・求めておられる事をよく聴き、まず必要としている支援を見極めながら話し合い、受け止めるようにしている。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談を受けた時から、本人・家族と十分に話し合い、本人が自宅での暮らしを希望し、グループホームに入居するよりも在宅でのケアサービスを調整して自宅で暮らし続けた方がいいと考えられる段階の場合は、まずは家族やケアマネジャー等と在宅で暮らす可能性を話し合うようにしている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入居をされる前に、本人・家族に視察に来て頂いたり、場合によっては体験に来て頂いたりし、職員や他の利用者、場の雰囲気を味わってもらい、本人が安心し、納得した上でサービスを開始している。  (外部評価) 入居前に本人や家族に見学や体験してもらったり、職員が訪問するなど、徐々に馴染めるよう工夫している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 常に職員が「同じ目線で自然に話をする」ことを心掛け、対等であるという事をしっかりと意識して取り組んでいる。一緒に過ごす中で、ちょっとした考え方やものの見方等、「ああ、そうですね。いいこと教えてもらえたわ」というような事が言える対等な関係を築ける様努めている。  (外部評価) 食事作りで味付けのアドバイスや巻き寿司を教えるもらったり、和裁を習ったり、恋愛の話や散歩など一緒に過ごす中で、学んだり支え合う関係を築いている。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 訪問時に近況報告だけに留まらず、家に居られた頃の様子や要望等お伺いしながら「本人様が自分らしく心地よく過ごして頂けるには・・・」と一緒に考えている。又定期的に電話や手紙でも連絡し関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 事前調査や面会時等本人や家族の話をよく聴き、理解に努めている。又面会時情報交換したり定期的に電話や手紙で連絡している。毎月の請求書を送付する時に写真を添付し、日常の様子を伝える等している。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 外出の際、自宅の付近をドライブしたり、小学校の運動会や自治会主催の催し物見学・参加等状態に応じ実施しているが、離れた地域からこられている利用者もあり、人間関係やつながりが保ちにくい。	※	残念ながら今迄は、離れた地域から来られた利用者もあり、馴染みの人や場所との関係が途切れがちであった。今後は地域にとどまるなかで、かつてもっていた人間関係やつながりを断ち切らないようなケアがしたい。
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 手伝いの取り合いや、耳の遠い方同士の話し合いの時等苛立ちや不穏があり、孤立しがちである。お互いが納得いくよう職員が間に入り協同しながらの達成感や交流による気分転換が図れるよう支援している。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 終了後も訪問して頂くよう声掛けし、出きる限り継続的な関わりが保てるようしている。又困っている事など相談に乗りアドバイスもしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の会話の中で本人の思いを汲み取り、希望・意向の把握に努め出きる限り意向にそうよう努めている。言葉での表現が困難な利用者は、表情やしぐさ等観察しながら努めている。  (外部評価) 日々の生活の中で、会話をしながら思いや希望を把握し、把握が困難な利用者に対しては表情やしぐさから汲み取り、会議で話し合い、利用者本位に検討している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 事前調査や他機関のケアマネージャーとの情報交換、本人・家族との話し合いの中で、1人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境等の把握に努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 毎日のバイタルチェックや、医療機関との連携により心身状態を把握し、1人ひとりに寄り添うことで、出来る事出来ないことを見極めその人らしい暮らし方を把握している。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 本人や家族の意見・要望を聞きながら、職員全員で意見を出し合い論議しながら、よりよく暮らせるように介護計画を作成している。  (外部評価) アセスメントを基に毎月会議で職員が意見やアイデアを出し合い、それらを反映した個別の介護計画を作成している。さらに実践につなげていくためにケアチェック表を作成し、活用している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 本人や家族の要望や変化に応じ、臨機応変にみなおしている。又月に1回モニタリングを実施しながら、確認している。  (外部評価) 毎月1回モニタリングを行いながら、3か月毎の見直しと利用者の変化に応じた見直しを行い、家族と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 利用者の状態の変化や重要事項等は赤・青ペンを活用し、注意しやすくしている。介護計画をファイルし確認し、1か月に1回モニタリングしている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 今のところ、本人や家族の状況やその時々要望はないが、必要に応じ柔軟な支援をしていきたい。  (外部評価) 外泊支援、通夜の同行、映画鑑賞、結婚式参列の同行等、本人や家族の要望に対して柔軟な支援をしている。	※	必要時、速やかに対応出来るよう、多機能性を活かした支援について研修等参加したい。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 今のところ本人の意向や必要性はないが、必要に応じ地域資源と協働しながら支援したい。	※	必要時、速やかに対応出来るよう、地域資源の発掘や関わりに努め、研修等参加したい。
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 今のところ本人の意向や必要性はないが、必要に応じ地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしたい。	※	必要時、速やかに対応出来るよう、地域の他のマネジャーやサービス事業者との関わりに努めたい。
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 今のところ本人の意向や必要性はないが、必要に応じ権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働したい。	※	必要時、速やかに対応出来るよう、地域包括支援センターとの関わりに努め、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について研修にも参加したい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 希望のかかりつけ医との連帯により、本人様希望時や異常時には早期往診・早期受診が出来るよう支援している。 <hr/> (外部評価) 本人と家族の希望を大切に、かかりつけ医の受診に同行し、受診記録を主治医に報告して適切な医療を受けられるよう支援している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 協力医療機関との連帯を密に取り、その都度相談している。状況に応じ早期受診の支援をしている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護職と日々相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援を行っている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 定期的に面会に行き、状態を把握し、早期退院に向けて医療機関と話し合っている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度化した場合や終末期のあり方については、ホームの指針を書面にて利用者、家族に同意を得ている。また、職員やかかりつけ医にも、指針の周知徹底は出来ている。 <hr/> (外部評価) 入居の早い時期から重度化や終末期の方針を本人、家族と話し合い、本人の状態に応じて医師と相談し、全員で方針を共有するよう努めている。看取り指針マニュアルを日々のケアに位置づけて常に確認しあっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 協力医療機関のDrと重度化した場合の指針を共有し、よりよい終末期を迎える支援ができるように取り組んでいる。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 利用者様や家族と十分に話し合い、納得して退去できるようにしている。また、転居先で生活に困らないよう、本人様や家族の了解を得て、情報提供をしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 利用者様を尊重し、言葉や態度を丁寧に接するよう心掛けている。また、個々の利用者様の生活歴を大切にしマナーにも気をつけている。記録等の個人情報の取り扱いにも秘密保持を厳守し充分気をつけている。  (外部評価) プライバシー確保の重要性を認識し、一人ひとりの誇りやプライバシーを大切に、トイレ誘導の声かけや対応など日々のケアの中で気をつけている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 日々のスケジュールは出きるだけ利用者様と話し合っている。また、希望が言えるように、ゆっくりした態度で接している。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 入浴や食事等利用者のペースを尊重し、自由に生活できるよう心掛けているが、訴えの無い利用者様は、時として職員のペースでことを進めてしまいがちである。  (外部評価) 食事や入浴時間などは利用者のペースを大切に、また利用者の表情から希望を汲み取り、その人らしい暮らしができるよう心がけている。	※	やさしく、ゆったりと接し表情やしぐさでの訴えも見逃さないよう細やかな心遣いで、1人ひとりのペースを大切にしたい。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 季節に合った衣服を着用して頂いている。男性の髭剃りや食後をはじめ、口の周囲も綺麗にぬぐっている。1か月に1回出張理美容院の利用を支援している。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事準備・調理等利用者様と一緒にやっている。又職員は利用者様と同じ食事をサポートしながら食べており、会話を楽しんでいる。  (外部評価) 食事の準備等を一緒に行い、食卓を共に囲み会話を楽しみながら食事したり、利用者の好みを献立に取り入れ、誕生日には好みのメニューにするなど、食事が楽しみとなるよう支援している。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 本人が希望されるコーヒーや熱いお茶、季節により麦茶やアイスコーヒー等毎日お出しし、楽しんでもらっている。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェックにより排泄パターンを把握し、個々に合った支援をしている。出きる限り自立にむけ、オムツ・紙パンツ・布パンツと使い分けしている。排泄の訴えが無い利用者様も時間をみてトイレ誘導し、出きるだけトイレで気持ちよく排泄できるよう支援している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 体調を見ながら、出きる限り本人の希望の時間にゆっくりと入って頂けるよう対応している。少しずつ身体機能が低下しており、リフトを設置している。  (外部評価) 入浴時間や曜日を決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を支援している。浴室にリフトを設置し、適宜使用している。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 以前より眠剤等を服用している方はいるが、新しく服用した利用者はいない。出きる限り、日中の生活に注目し、睡眠パターンを大切にしている。又入眠出来ない方は職員が対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 以前はどんな事をされていたのだろうかということをよく考えながら職員同士よく話し、その中で食事の下準備・調理・洗濯物畳み・掃除・園芸・生き物の世話等本人の力を見極めながら、その方が今までされてきた事で楽しめる事を楽しんで頂けるよう支援している。  (外部評価) 調理の手伝い、洗濯物たたみや掃除、ペットの亀の世話、手芸や編み物、和裁など、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごとの支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 小遣いの管理が出来る利用者、支援の必要な利用者等個々の利用者の力量に応じて支援している。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ぎずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 散歩や買い物等日々の生活の中に取り入れている。又奥様が他のグループホームに入居なさっており、いま離れ離れになっている利用者様を、こちらからお連れして面会したり、あるいは奥様のほうから来て頂いたりして団欒の時間を楽しんで頂けるようにしている。 <hr/> (外部評価) 近辺の川沿いの散歩で近隣の人とふれ合ったり、受診帰りの買い物やドライブを楽しんだり、希望に合わせて外出を支援している。また、別々のグループホームに入居している夫婦がお互い訪問し合う外出支援も実施している。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 花見・蛍狩り・お祭り・紅葉狩り等、四季折々に出かける機会を作り楽しんでいる。個別にご家族様と一緒に外出される事もある。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 何時でも本人希望される時に電話をかけたたり、手紙のやりとりができる。又取り次ぎを希望される時は、間に入り意思疎通ができるよう支援している。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 訪問時、職員から気持ちの良い挨拶や声掛けを心掛けています。又面会時間は決めておらず、何時でも訪問して頂けるようにしている。居室・居間等好きな所で過ごしてもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 拘束の弊害を正しく理解し、拘束の無いケアを実践している。	※	身体拘束に関してのより深い理解の為に機会が有る事に研修に参加したい。
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 自由な生活を支え、利用者や家族がスムーズに生活できるよう、鍵は掛けていない。利用者の居場所は職員が随時確認している。  (外部評価) 日中は鍵をかけず、見守りと近所の方の協力などで鍵をかけないケアに取り組んでいる。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 日中は職員間の「報告・連絡・相談」を密にし1人一人の所在確認・安否確認をしている。又夜間は眠りの妨げにならない様1時間毎の巡視を行い安否確認を行っている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、利用者の目を注意が必要な物品からそらす工夫をしながら整理整頓に努め危険防止に取り組んでいる。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 拘束なく事故防止ができるよう、ベッドからの転倒の恐れがある時は、ベッドを低くしベッド下にマットレスを敷く等、1人ひとりの状態に応じた対処法を職員全員で話し合い、御家族の同意を得、取り組んでいる。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 定期的に救命救急蘇生術の研修を行っている。また、協力医療機関のDrにも、適宜指導していただいている。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 定期的（年1回）に防災時避難訓練を行っている。地域の人々にも、日頃より協力体制をお願いしている。	※	地域の方々に、協力体制のお願いと認識もして頂いているが、地域の方と一緒に避難訓練を実施するまでに至っておらず、今後実現できるようにしていきたい。
			(外部評価) 年1回、防火・避難訓練を実施している。マニュアル・連絡網を作成し、夜間想定での避難訓練も行っている。今後、地域自主防災会でホームに対する災害対策が話し合われる予定であるが、近隣住民の協力はまだ得られていない。非常食等の備蓄はない。	※	ホームとして地域自主防災会の一員となり、住民の協力が得られるような話し合いを期待する。運営規定にあるように少なくとも年2回の防火・避難訓練が求められる。備蓄の検討も期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) カンファレンス等により職員間で話し合いしている。又家族等にも面会時や電話等にて必要に応じ話をし説明をしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日のバイタルのチェックや、様子観察の徹底により異変の早期発見に努め、協力医療機関との連帯を密に取り、その都度指示を仰ぎ早期往診・受診等迅速な対応を心掛けている。申し送りやカルテ・連絡ノートの活用等にて職員間の速やかな情報の共有や対応をしている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 医師の指示通り服用するよう薬の説明書をファイルし、何時でも確認できるようしている。服用後の症状の変化等にも気を付けている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) なるべく下剤に頼らず、日々のメニューの工夫や牛乳・食物繊維の摂取、身体を動かすレクレーションの取り組みに努め自然排便に努めている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、1人一人の能力に応じ、声掛けや介助しながら行っている。適宜歯科医の受診援助も行っている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 毎日、食事・水分の摂取量チェックを行いながら、栄養バランス・季節の食品・塩分等カロリーを考慮しながら支援している。水分量は1日700ml～1200mlを目安、食事は1人1人の状態に合わせて、器等工夫し満足のいくよう考慮し嚥下能力に合わせて形態の工夫も行っている。  (外部評価) 栄養士が利用者の好みも取り入れ、栄養バランスがよく必要カロリーが摂取できるよう献立を立てている。また、食事・水分摂取量を記録し、うどんを短くカットするなど、一人ひとりの状態や習慣に応じた支援をしている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染症予防マニュアルを作成し、それに沿って行っている。うがい・手洗い・消毒の徹底をはじめ、必要に応じての手袋・マスクの使用やホーム内の消毒等での掃除や洗濯対応している。インフルエンザワクチンの接種行っている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 調理用具は、衛生手順に消毒や洗浄を組み込み実施している。定期的な冷蔵庫の掃除や食品管理・ゴミ処理もきちんと行っている。食材はできる限り、その日の分をその日の朝に調達している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 入り口はゆったりとし、草木を植えている。表示も誰にでもわかるよう大きく目に付きやすく表示している。建物周辺には芝生や草花があり、明るく親しみやすい雰囲気である。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 家具類は家庭的なものを使用し、最近の行事時の写真等を飾ったり、折々の季節の花を生けたりしている。テレビの音等は耳障りでない様注意し、光は状態に応じブラインドで調節している。  (外部評価) 玄関、廊下は広く、居間には大きい窓を多く取り、外光をたっぷり取り入れ、光はブラインドで調節している、車いすからも外の景色が見え、利用者の刺激になっている。折々の行事で楽しそうな利用者の写真や手芸品も掲示し、落ち着いた雰囲気生活している。ホーム全体に気になる匂いはなく、居心地よく過ごせるよう工夫している。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ソファ・椅子・テーブル等、各所に配置しており、大きく窓をとり開放感がある。思い思いにゆっくりと時間が過ごせるよう居場所の工夫をしている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) ダンス・冷蔵庫・絵・写真・人形等愛着のある物を持ってきて頂いている。配置も自由に居心地よく過ごせるよう変えてもらっている。  (外部評価) それぞれに使い慣れた筆筒、テレビ、机やいす、家族や本人の写真、手芸品などを持ち込み、個性的で本人が居心地よく過ごせるよう工夫をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 換気は適宜しており、臭いにも気をつけている。冷暖房の温度調節も、冷やし過ぎや暖め過ぎが無いよう気をつけている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 建物内部はバリアフリーにて、手摺り・浴室マットの滑り止め・洗面手洗いの椅子の設置・浴室のベンチ等を設置し安全に活動できるよう工夫している。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 居室は、よく見える大きな字で名札を掛け、利用者様の状態に応じりボンや飾りで目印を付けている。トイレや風呂場等は解り易いよう凶入りにて目線の位置に表示している。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 建物の外周りやベランダには、花壇や家庭菜園があり、季節感や開放感を楽しみながら草引きや水遣り等お世話される。収穫できた野菜は食卓に出し、達成感や満足感を味わって頂いている。又玄関前にはベンチを置き、日光浴やレクレーションを楽しんで頂いている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。



V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の2/3くらい 評価) 3 利用者の1/3くらい 4 ほとんど掴んでいない	利用者の訴えや、家族の意向等傾聴しながら、各個人の性格等考慮し日々努めている。自分の言葉で表現できなかつたりする方の思いや意向の把握は本当に難しいが表情や動作の変化等常に本人の思いに関心を寄せるよう努めている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	食事やおやつの時間・入浴時・食事準備や洗濯物たたみ等利用者様と職員は話をし合いながらゆったりと楽しんでいる。又入浴時・手伝い時等には1対1でのコミュニケーションもとれている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	その人の体調、その時の天気やそこにある物など、もののながれや時間の流れに沿って、その時々合った暮らし方をされている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者1人ひとり、今までされて来た事や楽しいと思われることを本人の力を見極めながらお膳立てをしたり、黒子のサポートに十分配慮することにより、生き生きした表情や姿が見られる。残念な事に刺激が少なくボーとして過ごす時間が大半を占めている利用者もいる。
92	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	散歩や買い物等日々の生活の中に取り入れている。又奥様が他のグループホームに入居なさっており、いま離れ離れになっている利用者様を、こちらからお連れして面会したりもする。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日のバイタルチェックや医療機関との連携により、異常の早期発見や早期往診・受診ができる。又訴え時には主治医の指示を仰ぎ対応している。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	声掛け・傾聴によりほぼ落ち着かされている。職員間で、きずいた事を積極的に意見を出し合いながら意思統一を図り取り組み対応することにより、安心して暮らされている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	1 ほぼ全ての家族と (自己 ② 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時に、情報交換や要望等を気軽に伝えたり、相談できるよう声掛けしている。定期的に電話や手紙でも連絡している。残念な事に面会に来られる方が減ってきている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように (自己 2 数日に1回程度 評価) ③ たまに 4 ほとんどない	利用者の以前からの友人、近所の人、親戚、同級生などつながりのある人たちが訪問されるがお互いに高齢でもあり頻繁ではない。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	内子町グループホーム合同の運動会や研修会にグループホーム関係者や地域住民に参加して頂き地域密着型サービスとして質向上につなげると共に、グループホームのあるべき姿や存在意義等を広く地域に周知啓発し、「地域で支えあう」地域ネットワーク作りに取り組んでいる。
98	職員は、生き活きと働いている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員1人ひとり、悩み等抱えてはいるが、仕事とプライベートはきっちり分けて公私混同しないように仕事に取り組んでいる。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	出きる限り利用者のニーズを把握し、本人・家族の要望や変化に応じて臨機応変に取り組んでいる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会時に、情報交換や要望等を気軽に伝えたり、相談できるよう声掛けしているが、本音で話して頂けているかが不安である。

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

個々の利用者の希望や状態に応じたサービスを職員全員で話し合い、安心して、自分らしく暮らし続けて生けるよう取り組んでいる。

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
  - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
  - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームあおぞら

(ユニット名) 2Fユニット

記入者(管理者)  
氏名 土居 洋子

評価完了日 平成 19 年 10 月 24 日

(別表第1)

## 自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 本人がこれまで培ってきた家族や地域社会との関係の継続を大切にし、自分らしさを保ちながら、自由で心豊かな暮らしが送れるよう事業所独自の理念を創りあげている。  (外部評価) 開設時に運営者のホームに対するポリシーと思いを理念とし、分かりやすい文言で理念を表現している。基本方針に地域密着型サービスの役割を掲げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 日々の話し合いの中で、いかに利用者様が自分らしく心地よく過ごして頂けるか、テーブルの位置関係・お手伝いの声掛けの工夫等小さなことでも、きずいた事を積極的に意見を出し合いながら意思統一を図り取り組んでいる。  (外部評価) 毎月の会議で議題に上げ、また日々のケアの中で理念に沿って振り返りを行っている。ユニット毎に具体的目標を立て、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 利用者や家族に対しては、入居契約時に理念の説明を行い、また、玄関口に理念を掲示している。しかし、地域の人々に理解してもらい取り組みはまだ出来ていない。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 日頃から気持ちの良い挨拶を心掛けている。又買い物や散歩時、顔見知りになり気軽に声を掛け合ったりしている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 利用者の以前からの友人、近所の人、親戚、同級生などつながりのある人たちが訪問される。お祭りや近くの学校の運動会等地域活動に参加し地元の人々との交流に努めている。  (外部評価) 自治会に特別会員として受け入れてもらい、地域の花づくりに協力し、ホーム前で花を育てたり、地域主催の運動会や祭りに参加し、獅子舞や亥の子をホームに受け入れ、地域活動に参加している。また、趣味のボランティアグループや小学生の来訪を受け入れ、地域の人々との交流に努めている。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) カンファレンスや運営推進会議等で話し合いは行っているが、具体案は現在、模索中です。	※	地域の方々と、今以上の話し合いや相談を持ちかけ、様々な意見を聞いて取り組んでいきたい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) スタッフ全体で自己評価に取り組み、その内容を自分で読み、確認する事でスタッフ1人ひとりに気づきが生まれ、日常の場面でどうなのか振り返る事ができたり、確認する事ができた。  (外部評価) 自己評価は職員全員で取り組み、ケアの振り返りと見直しの機会としている。外部評価の結果を活かし、食事の栄養バランスと1日のカロリーを把握し、また、定期健診の実施や成年後見制度の理解に努めるなどの改善を行っているが、改善計画表は作成していない。	※  ※	「もっとよくしていきたい」という思いを大切に「これまで」「いま」「これから」の姿を皆で確かめ合い取り組みたい。  改善計画表を作成し、改善の状況や結果を確認していくことを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 利用者やサービスの実際、行事報告や話し合い等を行っている。又内子町グループホーム合同の運動会や研修会にグループホーム関係者や地域住民に参加して頂き地域密着型サービスとして質向上につなげると共に、グループホームのあるべき姿や存在意義等を広く地域に周知啓発し、「地域で支えあう」地域ネットワーク作りに取り組んでいる。  (外部評価) 町担当者、民生委員、地区長、利用者家族らを招き、2か月毎に開催しているが、会議の参加メンバーは固定的である。ホームの近況と事業報告を行い、議題として地域の5グループホーム合同運動会等を企画し、地域の認知症理解と啓発を図り、利用者・家族、地域住民との交流につなげている。	※	議題に評価の公表なども取り上げて意見や要望をもらい、運営に反映することを期待する。また、幅広い立場の人が参加できるようメンバーの工夫も期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議等以外でも、ケアプランや介護保険制度等での不明な点やホームの運営上ことを気軽に相談でき、また、内子町担当者も真摯に対応していただいている。介護の質の向上に向けて、研修会等の案内も随時していただいている。  (外部評価) いろいろな機会に担当者を訪ね、分からないことを教えてもらったり、職員がホームを訪問するなど行き来し、町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 日々の話し合いやカンファレンス等で話し合いながら、個々の必要性を検討し、必要な時は何時でも対応できるよう取り組んでいる。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 日々の話し合いやカンファレンス等で話し合いながら、虐待を見過ごさないよう注意を払い、防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約書を交わす際には、利用者や家族等と書面を基に時間を掛けて、十分納得していただく説明に心がけている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 職員は日々利用者に関わる際に、小さな意見や不満、苦情に対して耳を傾け、カンファレンス等で話し合い問題解決にあたっている。また、玄関口に意見箱を設け、利用者以外の方々の意見も聞くようにしている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 請求書を送る際、日々の生活や行事等に参加している時の写真やコメント(手紙)を同封して、暮らしぶりがわかるように努めている。また、金銭管理は出納帳をつけ、領収書を必ず請求書送付時に添付している。  (外部評価) 毎月ホームの行事や利用者の様子などの写真にメッセージを書き添え、立替の支出明細及び領収書を家族に送っている。預かり金のある利用者分は金銭出納簿に記録し、家族に報告している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族等が来られた時、利用者の現状報告をする際、意見等を聞くように職員全員が周知徹底できている。また、玄関口に意見箱を設け、意見や不満、苦情を受け付けている。  (外部評価) 入居時に苦情や意見、要望の申し立てについて説明している。また、玄関に意見箱を設置し、職員は家族の訪問時には苦情など出しやすいよう配慮し、出された意見や要望を利用者本位に検討し、運営に反映させている。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 運営に関する意見や提案等は、カンファレンス等で話し合いを設けている。また、個別にヒアリングをして、意見を聞いている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 管理者・ユニットリーダーを中心に、勤務の調整をしている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) あくまでも利用者本位に考え、必要最低限に抑えることに努めている。退職に関しても、利用者の精神状態を第一に考え、スムーズな引継ぎが出来るよう考慮している。  (外部評価) 異動の際は、新規採用者と利用者が馴染むよう離職者と新規採用者の重複勤務をしている。ここ1年は異動や離職が少なく落ち着いている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 内部研修については、管理者を中心にカンファレンス等を勉強会を行い、外部研修については、愛媛県GH連絡協議会等の研修を受講している。  (外部評価) 内部研修は毎月開催の会議でテーマを決め、学習している。外部研修は南予地区研修の費用を負担し、積極的に受講を奨励しているが、パート職員は受講できていない。受講者は内容を報告し、共有している。	※	研修を受講している職員、受講していない職員の格差が生じているため、特にパート職員に研修受講ができるように、今後考えていきたい。
				※	パート職員を含め、職員が段階に応じた研修が積極的に受講できるよう、参加方法や職員の意欲向上などの工夫が望まれる。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 内子町グループホーム連絡会等を通じて、他グループホームとの相互交流を行っている。また、愛媛県グループホーム連絡協議会の相互評価事業にも参加し、相互訪問を行い、新しい気付きや発見をすることで、ホーム内で他職員にフィードバックしている。  (外部評価) 地区グループホーム連絡会として認知症サポーター養成講座や運動会を開催するなど、ネットワークを結んだ研修やイベント、管理者会議等を積極的に行っている。県グループホーム連絡協議会に所属し、相互評価事業に参加し、相互訪問を通してサービスの向上に取り組んでいる。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 職員が個別に抱えている悩み・相談事は、随時ヒヤリング等で話しを聞く体制にしている。また、適宜、食事会を行い、職員間のコミュニケーションを円滑になるよう努めている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 年2回人事考課を行い、自己評価、上司評価をし、自分のできていること、また、改善しなければならないことを検討している。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 事前調査で書類を確認し、訪問して本人の不安なこと・求めていること等をよく聴き、納得いくよう話し合うようにしている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談を受けた時から、家族等が困っておられる事・不安なこと・求めておられる事をよく聴き、まず必要としている支援を見極めながら話し合い、受け止めるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談を受けた時から、本人・家族と十分に話し合い、本人が自宅での暮らしを希望し、グループホームに入居するよりも在宅でのケアサービスを調整して自宅で暮らし続けた方がいいと考えられる段階の場合は、まずは家族やケアマネジャー等と在宅で暮らす可能性を話し合うようにしている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入居をされる前に、本人・家族に視察に来て頂いたり、場合によっては体験に来て頂いたりし、職員や他の利用者、場の雰囲気を味わってもらい、本人が安心し、納得した上でサービスを開始している。  (外部評価) 入居前に本人や家族に見学や体験してもらったり、職員が訪問するなど、徐々に馴染めるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 常に職員が「同じ目線で自然に話をする」ことを心掛け、対等であるという事をしっかりと意識して取り組んでいる。一緒に過ごす中で、ちょっとした考え方やものの見方等、「ああ、そうですね。いいこと教えてもらえたわ」というような事が言える対等な関係を築ける様努めている。  (外部評価) 食事作りで味付けのアドバイスや巻き寿司を教えてもらったり、和裁を習ったり、恋愛の話や散歩など一緒に過ごす中で、学んだり支え合う関係を築いている。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 訪問時に近況報告だけに留まらず、家に居られた頃の様子や要望等お伺いしながら「本人様が自分らしく心地よく過ごして頂けるには・・・」と一緒に考えている。又定期的に電話や手紙でも連絡し関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 事前調査や面会時等本人や家族の話をよく聴き、理解に努めている。又面会時情報交換したり定期的に電話や手紙で連絡している。毎月の請求書を送付する時に写真を添付し、日常の様子を伝える等している。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 外出の際、自宅の付近をドライブしたり、小学校の運動会や自治会主催の催し物見学・参加等状態に応じ実施しているが、離れた地域からこられている利用者もあり、人間関係やつながりが保ちにくい。	※	残念ながら今迄は、離れた地域から来られた利用者もあり、馴染みの人や場所との関係が途切れがちであった。今後は地域にとどまるなかで、かつてもっていた人間関係やつながりを断ち切らないようなケアがしたい。
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 手伝いの取り合いや、耳の遠い方同士の話し合いの時等苛立ちや不穏があり、孤立しがちである。お互いが納得いくよう職員が間に入り協働しながらの達成感や交流による気分転換が図れるよう支援しているが、中には居室にこもりぎみのかたもおられる。	※	自然に居室からリビングへ出てきて頂けるよう、魅力ある空間・時間作りを職員全員で考え作っていきたい。
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 終了後も訪問して頂くよう声掛けし、出きる限り継続的な関わりが保てるようしている。又困っている事など相談に乗りアドバイスもしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の会話の中で本人の思いを汲み取り、希望・意向の把握に努め出きる限り意向にそうよう努めている。言葉での表現が困難な利用者は、表情やしぐさ等観察しながら努めている。  (外部評価) 日々の生活の中で、会話をしながら思いや希望を把握し、把握が困難な利用者に対しては表情やしぐさから汲み取り、会議で話し合い、利用者本位に検討している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 事前調査や他機関のケアマネージャーとの情報交換、本人・家族との話し合いの中で、1人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境等の把握に努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 毎日のバイタルチェックや、医療機関との連携により心身状態を把握し、1人ひとりに寄り添うことで、出来る事出来ないことを見極めその人らしい暮らし方を把握している。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 本人や家族の意見・要望を聞きながら、職員全員で意見を出し合い論議しながら、よりよく暮らせるように介護計画を作成している。  (外部評価) アセスメントを基に毎月会議で職員が意見やアイデアを出し合い、それらを反映した個別の介護計画を作成している。さらに実践につなげていくためにケアチェック表を作成し、活用している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 本人や家族の要望や変化に応じ、臨機応変にみなおしている。又月に1回モニタリングを実施しながら、確認している。  (外部評価) 毎月1回モニタリングを行いながら、3か月毎の見直しと利用者の変化に応じた見直しを行い、家族と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 利用者の状態の変化や重要事項等は赤・青ペンを活用し、注意しやすくしている。介護計画をファイルし確認し、1か月に1回モニタリングしている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 今のところ、本人や家族の状況やその時々要望はないが、必要に応じ柔軟な支援をしていきたい。  (外部評価) 外泊支援、通夜の同行、映画鑑賞、結婚式参列の同行等、本人や家族の要望に対して柔軟な支援をしている。	※	必要時、速やかに対応出来るよう、多機能性を活かした支援について研修等参加したい。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 今のところ本人の意向や必要性はないが、必要に応じ地域資源と協働しながら支援したい。	※	必要時、速やかに対応出来るよう、地域資源の発掘や関わりに努め、研修等参加したい。
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 今のところ本人の意向や必要性はないが、必要に応じ地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしたい。	※	必要時、速やかに対応出来るよう、地域の他のマネジャーやサービス事業者との関わりに努めたい。
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 今のところ本人の意向や必要性はないが、必要に応じ権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働したい。	※	必要時、速やかに対応出来るよう、地域包括支援センターとの関わりに努め、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について研修にも参加したい。



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 希望のかかりつけ医との連帯により、本人様希望時や異常時には早期往診・早期受診ができるよう支援している。 <hr/> (外部評価) 本人と家族の希望を大切に、かかりつけ医の受診に同行し、受診記録を主治医に報告して適切な医療を受けられるよう支援している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 協力医療機関との連帯を密に取り、その都度相談している。状況に応じ早期受診の支援をしている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護職と日々相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援を行っている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 定期的に面会に行き、状態を把握し、早期退院に向けて医療機関と話し合っている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度化した場合や終末期のあり方については、ホームの指針を書面にて利用者、家族に同意を得ている。また、職員やかかりつけ医にも、指針の周知徹底は出来ている。 <hr/> (外部評価) 入居の早い時期から重度化や終末期の方針を本人、家族と話し合い、本人の状態に応じて医師と相談し、全員で方針を共有するよう努めている。看取り指針マニュアルを日々のケアに位置づけて常に確認しあっている。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 協力医療機関のDrと重度化した場合の指針を共有し、よりよい終末期を迎える支援ができるよう取り組んでいる。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 利用者様や家族と十分に話し合い、納得して退去できるようにしている。また、転居先で生活に困らないよう、本人様や家族の了解を得て、情報提供をしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 利用者様を尊重し、言葉や態度を丁寧に接するよう心掛けている。また、個々の利用者様の生活歴を大切にしマナーにも気をつけている。記録等の個人情報の取り扱いにも秘密保持を厳守し充分気をつけている。 <hr/> (外部評価) プライバシー確保の重要性を認識し、一人ひとりの誇りやプライバシーを大切に、トイレ誘導の声かけや対応など日々のケアの中で気をつけている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 日々のスケジュールは出きるだけ利用者様と話し合っている。また、希望が言えるように、ゆっくりした態度で接している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 入浴や食事等利用者のペースを尊重し、自由に生活できるよう心掛けているが、訴えの無い利用者様は、時として職員のペースでことを進めてしまいがちである。  (外部評価) 食事や入浴時間などは利用者のペースを大切に、また利用者の表情から希望を汲み取り、その人らしい暮らしができるよう心がけている。	※	やさしく、ゆったりと接し表情やしぐさでの訴えも見逃さないよう細やかな心遣いで、1人ひとりのペースを大切にしたい。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 季節に合った衣服を着用して頂いている。男性の髭剃りや食後をはじめ、口の周囲も綺麗にぬぐっている。1か月に1回出張理美容院の利用を支援している。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事準備・調理等利用者様と一緒にやっている。又職員は利用者様と同じ食事をサポートしながら食べており、会話を楽しんでいる。  (外部評価) 食事の準備等を一緒に行い、食卓を共に囲み会話を楽しみながら食事したり、利用者の好みを献立に取り入れ、誕生日には好みのメニューにするなど、食事が楽しみとなるよう支援している。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 本人が希望されるコーヒーや熱いお茶、季節により麦茶やアイスコーヒー等毎日お出しし、楽しんでもらっている。ビール等家族が持参し「好きだったから」と望まれる時は夕食の時に様子を見てお出しする事もある。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄パターンを把握し、個々に合った支援をしている。出きる限り自立にむけ、オムツ・紙パンツ・布パンツと使い分けしている。排泄の訴えが無い利用者様も時間をみてトイレ誘導し、出きるだけトイレで気持ちよく排泄できるよう支援している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 体調を見ながら、出きる限り本人の希望の時間にゆっくりと入って頂けるよう対応している。少しずつ身体機能が低下しており、リフトを設置している。  (外部評価) 入浴時間や曜日を定めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を支援している。浴室にリフトを設置し、適宜使用している。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 以前より眠剤等を服用している方はいるが、新しく服用した利用者はいない。出きる限り、日中の生活に注目し、睡眠パターンを大切にしている。又入眠出来ない方は職員が対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 以前はどんな事をされていたのだろうということをよく考えながら職員同士よく話し、その中で食事の下準備・調理・洗濯物畳み・掃除・園芸等本人の力を見極めながら、その方が今までされてきた事で楽しめる事を楽しんで頂けるよう支援している。  (外部評価) 調理の手伝い、洗濯物たたみや掃除、ペットの亀の世話、手芸や編み物、和裁など、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごとの支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 小遣いの管理が出来る利用者、支援の必要な利用者等個々の利用者の力量に応じて支援している。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 散歩や花の水遣り等、本人の希望時は出来る限り要望にそうよう支援している。又自宅へ帰り用事をされたり、近所の方と交流されたり、随時買い物に行かれたりと楽しめる利用者もおられる。  (外部評価) 近辺の川沿いの散歩で近隣の人とふれ合ったり、受診帰りの買い物やドライブを楽しんだり、希望に合わせて外出を支援している。また、別々のグループホームに入居している夫婦がお互い訪問し合う外出支援も実施している。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 花見・蛍狩り・お祭り・紅葉狩り等、四季折々に出かける機会を作り楽しんでいる。個別にご家族様と一緒に外出される事もある。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 何時でも本人希望される時に電話をかけた時、手紙のやり取りができる。又取り次ぎを希望される時は、間に入り意思疎通が出来るよう支援している。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 訪問時、職員から気持ちの良い挨拶や声掛けを心掛けています。又面会時間は決めておらず、何時でも訪問して頂けるようにしている。居室・居間等好きな所で過ごしてもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 拘束の弊害を正しく理解し、拘束の無いケアを実践している。	※	身体拘束に関してのより深い理解の為に機会が有る事に研修に参加したい。
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 自由な生活を支え、利用者や家族がスムーズに生活できるよう、鍵は掛けていない。利用者の居場所は職員が随時確認している。  (外部評価) 日中は鍵をかけず、見守りと近所の方の協力などで鍵をかけないケアに取り組んでいる。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 日中は職員間の「報告・連絡・相談」を密にし1人一人の所在確認・安否確認をしている。又夜間は眠りの妨げにならない様1時間毎の巡視を行い安否確認を行っている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、利用者の目を注意が必要な物品からそらす工夫をしながら整理整頓に努め危険防止に取り組んでいる。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 拘束なく事故防止ができるよう、ベッドからの転倒の恐れがある時は、布団を敷き対応する等1人ひとりの状態に応じた対処法を職員全員で話し合い、御家族の同意を得、取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 定期的に救命救急蘇生術の研修を行っている。また、協力医療機関のDrにも、適宜指導していただいている。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 定期的（年1回）に防災時避難訓練を行っている。地域の人々にも、日頃より協力体制をお願いしている。  (外部評価) 年1回、防火・避難訓練を実施している。マニュアル・連絡網を作成し、夜間想定避難訓練も行っている。今後、地域自主防災会でホームに対する災害対策が話し合われる予定であるが、近隣住民の協力はまだ得られていない。非常食等の備蓄はない。	※	ホームとして地域自主防災会の一員となり、住民の協力が得られるような話し合いを期待する。運営規定にあるように少なくとも年2回の防火・避難訓練が求められる。備蓄の検討も期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) カンファレンス等により職員間で話し合いしている。又家族等にも面会時や電話等にて必要に応じ話をし説明をしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日のバイタルのチェックや、様子観察の徹底により異変の早期発見に努め、協力医療機関との連帯を密に取り、その都度指示を仰ぎ早期往診・受診等迅速な対応を心掛けている。申し送りやカルテ・連絡ノートの活用等にて職員間の速やかな情報の共有や対応をしている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 医師の指示通り服用するよう薬の説明書をファイルし、何時でも確認できるようしている。服用後の症状の変化等にも気を付けている。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) なるべく下剤に頼らず、日々のメニューの工夫や牛乳・食物繊維の摂取、身体を動かすレクレーションの取り組みに努め自然排便に努めている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、1人一人の能力に応じ、声掛けや介助しながら行っている。適宜歯科医の受診援助も行っている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 毎日、食事・水分の摂取量チェックを行いながら、栄養バランス・季節の食品・塩分等カロリーを考慮しながら支援している。水分量は1日700ml～1200mlを目安、食事量は1人1人の状態に合わせ、器等工夫し満足のいくよう考慮し嚥下能力に合わせ形態の工夫も行っている。  (外部評価) 栄養士が利用者の好みも取り入れ、栄養バランスがよく必要カロリーが摂取できるよう献立を立てている。また、食事・水分摂取量を記録し、うどんを短くカットするなど、一人ひとりの状態や習慣に応じた支援をしている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染症予防マニュアルを作成し、それに沿って行っている。うがい・手洗い・消毒の徹底をはじめ、必要に応じての手袋・マスクの使用やホーム内の消毒等での掃除や洗濯対応している。インフルエンザワクチンの接種行っている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 調理用具は、衛生手順に消毒や洗浄を組み込み実施している。定期的な冷蔵庫の掃除や食品管理・ゴミ処理もきちんと行っている。食材はできる限り、その日の分をその日の朝に調達している。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 入り口はゆったりとし、草木を植えている。表示も誰にでもわかるよう大きく目に付きやすく表示している。建物周辺には芝生や草花があり、明るく親しみやすい雰囲気である。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 家具類は家庭的なものを使用し、最近の行事時の写真等を飾ったり、折々の季節の花を生けたりしている。テレビの音等は耳障りでない様注意し、光は状態に応じブラインドで調節している。  (外部評価) 玄関、廊下は広く、居間には大きい窓を多く取り、外光をたっぷり取り入れ、光はブラインドで調節している、車いすからも外の景色が見え、利用者の刺激になっている。折々の行事で楽しそうな利用者の写真や手芸品も掲示し、落ち着いた雰囲気与生活している。ホーム全体に気になる匂いはなく、居心地よく過ごせるよう工夫している。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ソファ・椅子・テーブル等、各所に配置しており、大きく窓をとり開放感がある。思い思いにゆつくりと時間が過ごせるよう居場所の工夫をしている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) タンス・冷蔵庫・絵・写真・人形等愛着のある物を持ってきて頂いている。配置も自由に居心地よく過ごせるよう変えてもらっている。  (外部評価) それぞれに使い慣れた筆筒、テレビ、机やいす、家族や本人の写真、手芸品などを持ち込み、個性的で本人が居心地よく過ごせるよう工夫をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 換気は適宜しており、臭いにも気をつけている。冷暖房の温度調節も、冷やし過ぎや暖め過ぎが無いよう気をつけている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 建物内部はバリアフリーにて、手摺り・浴室マットの滑り止め・洗面手洗いの椅子の設置・浴室のベンチ等を設置し安全に活動できるよう工夫している。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 居室は、よく見える大きな字で名札を掛け、利用者様の状態に応じりボンや飾りで目印を付けている。トイレや風呂場等は解り易いよう凶入りにて目線の位置に表示している。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 建物の外周りやベランダには、花壇や家庭菜園があり、季節感や開放感を楽しみながら草引きや水遣り等お世話される。収穫できた野菜は食卓に出し、達成感や満足感を味わって頂いている。又玄関前にはベンチを置き、日光浴やレクレーションを楽しんで頂いている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の2/3くらい 評価) 3 利用者の1/3くらい 4 ほとんど掴んでいない	利用者の訴えや、家族の意向等傾聴しながら、各個人の性格等考慮し日々努めている。自分の言葉で表現できなかつたりする方の思いや意向の把握は本当に難しいが表情や動作の変化等常に本人の思いに関心を寄せるよう努めている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	食事やおやつの時間・入浴時・食事準備や洗濯物たたみ等利用者様と職員は話をし合いながらゆったりと楽しんでいる。又入浴時・手伝い時等には1対1でのコミュニケーションもとれている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	その人の体調、その時の天気やそこにある物など、もののながれや時間の流れに沿って、その時々合った暮らし方をされている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者1人ひとり、今までされて来た事や楽しいと思われることを本人の力を見極めながらお膳立てをしたり、黒子的なサポートに十分配慮することにより、生き生きした表情や姿が見られる。残念な事に刺激が少なくボーとして過ごす時間が大半を占めている利用者もいる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	散歩や買い物等日々の生活の中に取り入れている。利用者の希望時には自宅へ帰り用事をされ、近所の方と交流されることもある。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日のバイタルチェックや医療機関との連携により、異常の早期発見や早期往診・受診ができる。又訴え時には主治医の指示を仰ぎ対応している。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	声掛け・傾聴によりほぼ落ち着かされている。職員間で、きずいた事を積極的に意見を出し合いながら意思統一を図り取り組み対応することにより、安心して暮らされている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	1 ほぼ全ての家族と (自己 ② 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時に、情報交換や要望等を気軽に伝えたり、相談できるよう声掛けしている。定期的に電話や手紙でも連絡している。残念な事に面会に来られる方が減ってきている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように (自己 2 数日に1回程度 評価) ③ たまに 4 ほとんどない	利用者の以前からの友人、近所の人、親戚、同級生などつながりのある人たちが訪問されるがお互いに高齢でもあり頻繁ではない。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	内子町グループホーム合同の運動会や研修会にグループホーム関係者や地域住民に参加して頂き地域密着型サービスとして質向上につなげると共に、グループホームのあるべき姿や存在意義等を広く地域に周知啓発し、「地域で支えあう」地域ネットワーク作りに取り組んでいる。
98	職員は、生き活きと働いている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員1人ひとり、悩み等抱えてはいるが、仕事とプライベートはきっちり分けて公私混同しないように仕事に取り組んでいる。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	出きる限り利用者のニーズを把握し、本人・家族の要望や変化に応じて臨機応変に取り組んでいる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会時に、情報交換や要望等を気軽に伝えたり、相談できるよう声掛けしているが、本音で話して頂けているかが不安である。

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

個々の利用者の希望や状態に応じたサービスを職員全員で話し合い、安心して、自分らしく暮らし続けて生けるよう取り組んでいる。